

～ 佐渡裕芸術監督 プロデュースオペラ 2016 公演 によせて ～

薄井憲二バレエ・コレクション常設展

vol. 58

バレエ『夏の夜の夢』

～その魅力と多彩な変奏～

展示期間 /

2016年7月21日(木) ～ 2016年7月31日(日)

企画・構成 /

関典子 (薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーター)

2016年7月22～31日、いよいよ、兵庫県立芸術文化センター11周年 および シェイクスピア没後400周年を飾る待望のオペラ、佐渡裕プロデュース『夏の夜の夢』が開幕されます。本公演に因んで、第58回常設展では、バレエ『夏の夜の夢』を取り上げます。

今回上演されるオペラは、イギリスの作曲家ベンジャミン・ブリテン(1913～1976)によるものですが、一方のバレエでは、ドイツの作曲家フェリックス・メンデルスゾーン(1809～1847)の楽曲が多く用いられています。バレエとオペラでは楽曲や表現スタイルが異なりますが、いずれも、ウィリアム・シェイクスピア(1564～1616)の原作の魅力に導かれるようにして生まれた作品です。

今回展示している『夏の夜の夢』の様々な変奏が、新たな鑑賞体験や解釈を紡ぎ出す一助となることを願って……一夏・一夜の夢を、どうぞごゆっくり、ご堪能ください。

『夏の夜の夢 (A Midsummer Night's Dream)』

ウィリアム・シェイクスピア作の喜劇。執筆や初演の時期については明確な記録がないが、1594～1596年頃だと考えられ、ギリシャ神話や古代ローマ時代の古典文学が、構想のもととなったとされている。誕生以来、演劇はもちろん、バレエ・管弦楽・映画・オペラなど、様々なかたちで上演され続けている、不朽の名作である。

物語の舞台は、月の輝く夜の森。結婚間近のアセズ公シーシアスとアマゾン国のヒポリタ、夫婦喧嘩中の妖精王オーベロンと女王ティターニア、駆け落ちし、恋の駆け引きを繰り返す4人の男女たち(ライサンダー、ディミートリアス、ハーミア、ヘレナ)、結婚式の余興のための劇を練習中の職人たちの一団、そして、「魔法の花の惚れ薬」によって、一夜の大騒動を巻き起こしてしまう、いたずら好きの妖精パック。夏至の夜の森に一堂に集った妖精と人間が織りなす、一夜の夢物語。

バレエ『夏の夜の夢』の主な作品歴

その魅力と普遍性から、『夏の夜の夢』をテーマとするバレエは、現在に至るまで様々なヴァージョンが創られてきた。クラシックバレエの様式を確立したマリウス・プティパや、バレエ・リュスを代表するミハイル・フォーキンも手掛けた他、20世紀後半には、数々のドラマティックバレエが誕生し、21世紀には斬新な演出・衣装・振付によるコンテンポラリー作品が登場している。

- 1876年--- マリウス・プティパ(1818～1910)版
- 1906年--- ミハイル・フォーキン(1880～1942)版
- 1962年--- ジョージ・バランシン(1904～1983)版
- 1964年--- フレデリック・アシュトン(1904～1988)版*
- 1977年--- ジョン・ノイマイヤー(1942～)版
- 1993年--- ロバート・コーハン(1925～)版
- 2005年--- ジャン・クリストフ・マイヨー(1960～)版*
- 2015年--- アレクサンダー・エックマン(1984～)版

* タイトルは、1964年『The Dream(夢)』、2005年『Le Songe(夢)』

主な出展リスト

- ◆週刊新聞『The Illustrated London News』「プリンセス劇場『夏の夜の夢』の一場面」(イギリス 1856年)
- ◆パリ・オペラ座バレエ団『夏の夜の夢』プログラム
ジョン・ノイマイヤー版(フランス 1982年)
- ◆アレクサンダー・ロイ・ロンドン・バレエ・シアター
『夏の夜の夢/美女と野獣』プログラム(イギリス 1988年)
- ◆参考展示
- ジョージ・バランシン振付『夏の夜の夢』
1962年初演 ニューヨーク・シティ・バレエ団など
- フレデリック・アシュトン振付『The Dream(夢)』
1964年初演 英国ロイヤル・バレエ団など
- ジョン・ノイマイヤー振付『夏の夜の夢』
1977年初演 ハンブルク・バレエ団など
- ジャン・クリストフ・マイヨー振付『Le Songe(夢)』
2005年初演 モナコ公国モンテカルロ・バレエ団
- アレクサンダー・エックマン振付『夏の夜の夢』
2015年初演 スウェーデン・ロイヤル・バレエ団



兵庫県立芸術文化センター

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22

tel: 0798-68-0223 fax: 0798-68-0212

※ 禁無断転載・複製・引用

